

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

小城中心拠点地区
(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

平成29年12月

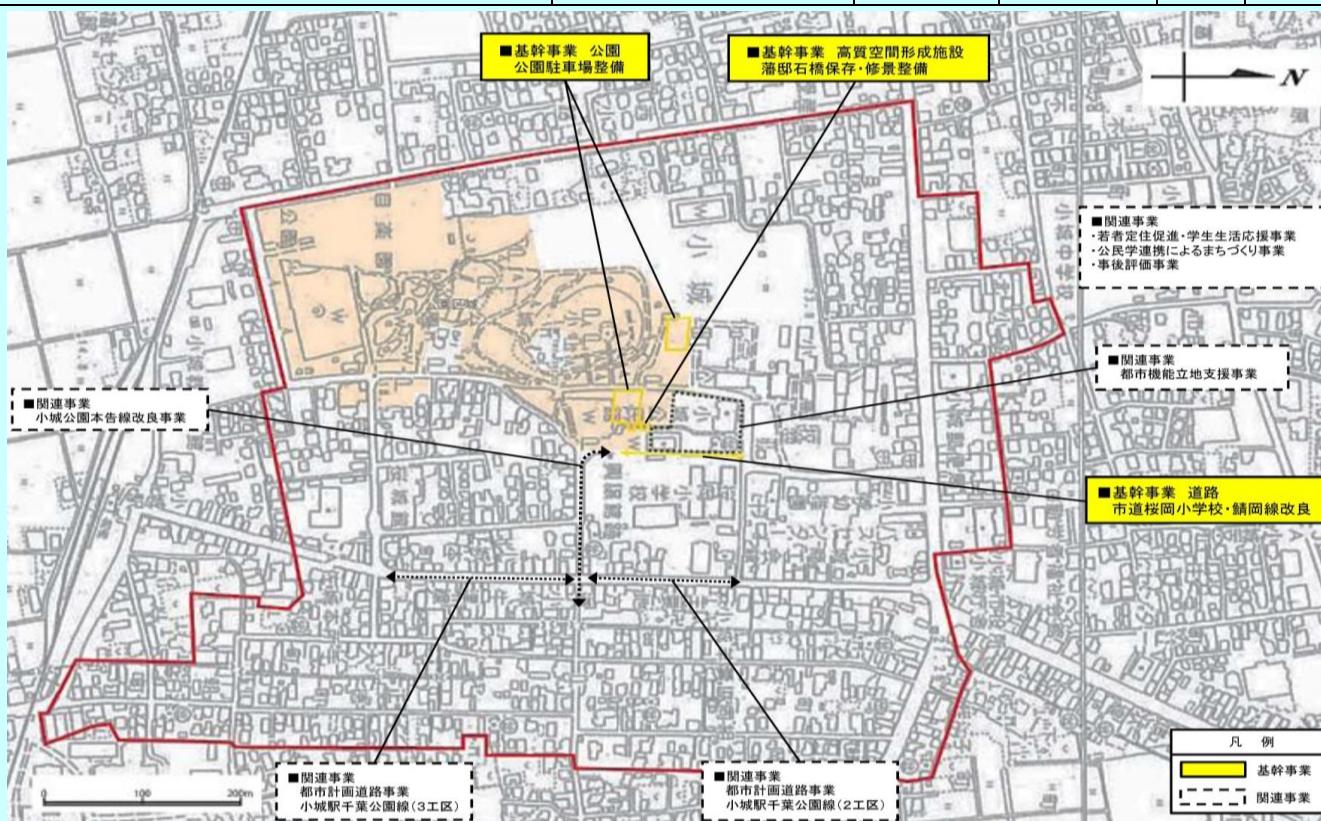
佐賀県小城市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県		市町村名		小城市		地区名		小城中心拠点地区(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))				面積		56ha			
交付期間	平成28年度～平成29年度		事後評価実施時期		平成29年度		交付対象事業費		85.4		国費率		0.50					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業		事業名 道路:市道桜岡小学校・鯖岡線改良、公園:公園駐車場整備、高質空間形成施設:藩邸石橋保存・修景整備														
		提案事業		-														
	当初計画から削除した事業	基幹事業		なし				-				-						
		提案事業		なし				-				-						
	新たに追加した事業	基幹事業		なし				-				-						
		提案事業		なし				-				-						
	交付期間の変更	当初		平成28年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-										
		変更		-														
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位		従前値		目標値		数値		目標達成度		1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度		モニタリング		評価値								
指標1		定住人口推移	人	2,369	平成26年度	2,370	平成29年度		2,296	△	あり		● ・大学校舎建設は完了しているものの、周辺環境整備が現在進行中であるため、指標の達成には至っていない。また、主なターゲットである学生も開学前で本市に定着していないことから、今後のフォローアップによる評価を実施する。		平成30年11月			
											なし							
指標2		歩行者・自転車通行量	人/日	1,882	平成26年度	2,000	平成29年度		2,504	○	あり		● ・中心拠点地区での小城駅、小城公園、市民交流プラザ整備による事業効果が発現してきている。特に市民交流プラザ来場者は順調に増加傾向にあり、街なかへの来訪者増や回遊性向上への改善に大きく寄与している。		平成30年11月			
											なし							
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位		従前値		目標値		数値		目標達成度※1		1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
					基準年度		目標年度		モニタリング		評価値							
	その他の数値指標1	市民交流プラザ来場者数	人/年	164,954	平成28年						178,521			● ・中心拠点地区内で平成28年1月に開館した市民交流プラザは順調に来場者数を伸ばしてきている。特に、(株)まちづくり小城が「公民学連携によるまちづくり事業」で実施している定期的な市民講座の開催によって、集客が図られており、拠点施設としての事業効果が発現している。		平成31年2月		
4)定性的な効果発現状況	計画区域において、おぎ元気館を活用した商業と若者等の居住機能を持つ複合施設計画、老朽化した既存施設建替えに伴う商店機能の集約化など、民間主導による商業・交流の活性化に向けた検討が進められている。																	
5)実施過程の評価			実施内容					実施状況					今後の対応方針等					
	モニタリング	-							都市再生整備計画に記載し、実施できた					-				
									都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
									都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス			地元区長等への説明及び意見交換会を開催					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● 平成30年開学以降も引き続き、大学関係者との意見交換を実施予定。				
									都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
									都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築			若者から高齢者までの多世代が共生する賑わいと風格のある中心拠点の形成に向けて「公民学連携によるまちづくり事業」を実施し、大学やまちづくり組織が主体となり、まちの魅力づくりや安心安全なまちづくりを推進している。					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● (株)まちづくり小城と地域関係者の主体的な運営を展開する。				
									都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
									都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

小城中心拠点地区(佐賀県小城市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
多世代が共生した賑わいと風格のある中心拠点の形成を目指し、高等教育機関(大学)の誘致を契機としたコミュニティの再生と定住人口の拡大を目指す。また、地区内の回遊性の向上を図るため、歴史的な地域資源を活かしつつ、歩きたくなる魅力的な都市・商業空間づくりを推進する。	定住人口	単位: 人	2,369	H26	2,370	H29	2,296	H29
	歩行者・自転車通行量	単位: 人/日	1,882	H26	2,000	H29	2,504	H29



まちの課題の変化	・近年、市全域では人口数は減少傾向が続いており、高齢化率も増加傾向にあるが、中心拠点地区内では人口数は下げ止まり傾向が見えており、高齢化率は減少に転じている。 ・一方、中心拠点地区内の土地活用や建物更新、若者世帯の定住、商店街の主体的な賑わい創出など、今後引き続き改善すべき課題を抱えている。
今後のまちづくり の方策 （改善策を含む）	・若者定住促進に向けて、地区内の空家や空き地を活用した空き家改修補助等による居住環境確保、移住促進転入奨励金などによる移住定住支援を推進する。 ・商店会活性化に向けて、民間主導による商店街活性化に向けた複合施設の整備検討に向けた支援のほか、空き店舗等活用事業補助金などにより活性化の基盤づくりを推進する。